

日本環境管理学会「環境の管理」論文等執筆要領
Guideline for Preparing a Original Paper for the Journal of RIEMAM

【1行あける】

環境 一郎*

Ichirou Kankyo

【1行あける】

keywords : RIEMAM, Environmental Management, submission of a paper

日本環境管理学会、環境の管理、論文投稿

【1行あける】

1. 論文等の体裁・原稿形態

(1) 論文等の種類は原著論文、総説・展望、技術ノート、掲載論文等に対する質疑討論とする。

(2) 原著論文のページ数は6ページから10ページを基準とし、10ページを超える超過ページは4ページを限度とする。

(3) 掲載論文等に対する質疑討論については、1ページを基準とし、超過ページは1ページとする。

(4) 総説・展望及び技術ノートのページ数は10ページ以内とする。

(5) 論文等の原稿は、必要事項を記入した本会所定の「投稿論文等送付票」を添付して提出する。

(6) この執筆要領に従って、論文等の原稿を作成し、PDFの形で提出する。

2. 論文等の構成

論文等の構成は下記による。質疑討論はこれに準じる。

- ① 題目と著者名（日本語及び英語）
- ② キーワード（日本語及び英語）
- ③ 所属機関・学位（日本語及び英語・1頁目下欄）
- ④ 本文（本文は図・表・写真を含め、以下を標準とする）
 - (1) まえがき
 - (2) 本論
 - (3) 結論
 - (4) 謝辞
- ⑥ 付録、注、引用文献、参考文献

3. 論文等の題目・著者名・キーワード

(1) 論文等の題目は、その内容を的確に表現したものでなければならない。

(2) 共通する主題のもとで連続する数編を投稿する場合は、個々の論文等には、その内容を具体的にあらわす題目を付し、共通の総主題は、副題（サブタイトル）として、その1、その2などと付ける。

(3) 論文等の題目は、12ポイントの大きさのゴシック体を使用して、中央に記載する。

(4) 次の行に、論文等の英文題目を、10ポイントの大きさで、Centuryを使用して、中央に記載する。

(5) 空白行を1行設けた次の行に、著者名を10ポイントの大きさのゴシック体を使用して、中央に記載する。

(6) 次の行に、著者の英文名称を、10ポイントの大きさで、Centuryを使用して、中央に記載する。

(7) 空白行を1行設けた次の行に、イタリック体による

"keyword:"の記載の後に3~5語程度の英文によるキーワードを、10ポイントの大きさで、Centuryを使用して、中央に記載する。

(8) 次の行の中央に、10ポイントの大きさで、日本語によるキーワードを記載する。

(9) 空白行を1行設けた次の行から、論文等の本文を記載する。

4. 論文等の本文

(1) 論文等の本文は、A4大きさとし、左右に20mm、上下に25mmの余白をとり、この枠内に9ポイントの大きさの明朝体の文字を用いて、28字×55行、2段組、3,080字（28×55×2）で作成する。

なお、章節の番号を除く本文中の英数字は、半角のCentury体、9ポイントを使用する。

(2) 論文の文章等

① 論文等の文章は、ひらがな混じり口語体、現代かなづかいとし、原則として当用漢字を用いる。

② 数字、アルファベット、ギリシャ文字、上付き、下付き、大文字、小文字などのまぎらわしいものは明確にすること。

③ 図、表及び写真には、それぞれ、図1、図2、…、表1、表2、…、写真1、写真2…などと通し番号をつける。

④ 図、表及び写真には、内容を的確に表現する標題を必ずつける。また、図及び写真の標題は図及び写真の下部に、表の標題は表の上部につける

⑤ 数式には、(1)、(2)、(3)などの通し番号をつける。

(3) 注・引用文献・参考文献

① 注は、論文本文には含まれないような詳細なコメントや意見を述べるもので、注の順に通し番号を付し、論文文章の後に番号順にまとめて掲載する。

② 引用文献は、引用順に番号を付し、注の後に番号順にまとめて掲載する。

④ 文献番号は、文章中または図、表の引用箇所^{1), 2)}のように上付き文字を使用して明記する。

⑤ 文献の記載方法は、次による。

(1) 論文の場合

著者名：標題、誌名、Vol.、No.、発表年月、掲載頁の順とする。

*〇〇工業大学・工学部 教授・工博

prof., Faculty of Engineering, 〇〇Institute of Technology, Dr. Eng.

(2) 単行本の場合

著（編）者名：書名、発行所名、発行年月、掲載頁の順とする。

(3) 著者名は、姓前で記す。ただし、著者が複数で多い場合、筆頭者以外は、ほか〇名としてもよい。

(4) 欧文の場合には、筆頭者は姓を先に記す。また、連名者は「et al.」で省略することもできる。

(5) 一般に公表されていない文献、たとえば未発表の論文、簡易印刷（コピーしたものなど）の委員会報告や社内報告および私信などは、文献として扱わない。必要な場合には注とし、引用箇所につき文字^{注1)}、^{注2)}のように明記する。

⑥ 図、表等の引用・転載にあたっては、著作権所有者の許可を取らなければならない。

⑦ 文献の記載例

[引用文献]

1. 杖先 壽理、正田 浩三、垣鏝 直：オフィスビ

ル内のカーペット床の汚れに関する調査，環境の管理，2019.5，No.83，p.19-24

2. Sheppard, S. D. et al. : On Becoming a 21st Century Engineer, Journal of Engineering Education, Vol.97, No.3, July 2008, pp.232-233

3. 空気調和・衛生工学会編：京都議定書目標達成に向けて 建築・都市エネルギーシステム新技術、空気調和・衛生工学会、2007年10月、p.62

[参考文献]

1. マーク・モラノ著、渡辺 正訳：「地球温暖化」の不都合な真実、日本評論社、2019年6月

2. 槌田 敦：弱者のための「エントロピー経済学」入門、ほたる出版、2007年9月

日本環境管理学会 論文部門別 分類一覧

1 都市環境管理		3 ビルディング・メンテナンス		4 プロパティ・マネジメント (不動産経営管理)	
細分類	1. 都市環境・地域環境 2. 都市環境管理 3. 都市設備 4. 都市エネルギー 5. リモートセンシング 6. コンパクトシティ 7. 都市防災 8. 都市景観 9. 人口 99. その他	細分類	1. 環境衛生管理 2. 清掃管理 3. 衛生管理 3.1 空気環境管理 3.2 給水管理 3.3 排水管理 3.4 害虫防除 3.5 廃棄物処理 4. 設備運転保守管理 4.1 電気設備 4.2 空調調和設備 4.3 給排水設備 4.4 消防用設備 4.5 昇降機設備 5. 建物・設備点検整備 5.1 建物点検整備 5.2 設備点検整備 6. 保安警備 6.1 警備 6.2 防火防災 6.3 駐車場管理 99. その他	細分類	1. PM 2. 不動産 3. AM 4. FM 5. LCM 99. その他
2 建築環境管理		5 ビルディング・マネジメント		6 環境管理論	
細分類	1. 熱環境 2. 空気環境 3. 光環境・音環境 4. 空間環境 5. 安全・建築防災 6. 信頼性・保水性・耐久性 7. 執務環境・情報環境 8. 水環境 9. 生物環境 10. 廃棄物・清掃 11. 経済環境 12. 資源・エネルギー 13. 総合環境・総合評価 14. 環境管理システム 99. その他	細分類	1. 管理・管理手法 2. 管理計画・運用計画 3. 空間利用計画 4. 経営 5. ビル管理システム 6. 設備管理システム 7. ビル環境管理 8. 建築経済 9. LCC 10. ビル調査・計画 11. ビル開発・建設 99. その他	細分類	1. 環境管理 2. 環境監査 3. 環境アセスメント 4. 環境経営 5. 環境マネジメント 6. 危機管理 99. その他